

私のパワースポット 屋久島



早朝5時、ガイドのM氏とまだ薄暗い登山口で二月月ぶりの再会、行程の打ち合わせと準備運動後に出発。南の島とはいえ五月の山中、凜とした空気の中に針葉樹の放つ芳香が清々しい・・・。

写真撮影のために「屋久島」を訪れたのは三度目、この島は海岸近くはブーゲンビリアやハイビスカスが咲き山頂では雪とい

う、四季を凝縮した極めて特異な島といえます。島全体は海中からせり上がった花崗岩の岩盤で、表土が薄く樹木にとっては栄養乏しい環境ですが、黒潮の影響で多量に降る雨に救われています。このため木の成長は遅く、年輪が密となって数千年という悠久の時を生き抜くことができるようです。またその木肌や周りの岩には苔が密生し、ここから滴る水滴はいたるところに小さな清流を作り、これを手ですくって飲んだ時には五臓六腑にしみわたり、まさに甘露。ここは島中が癒しのパワースポットです。

とりわけ私が気に入って撮影に時間をさいた木は「翁杉」と名付けられた屋久杉です。直径4m、樹高24m、樹齢二千年のこの杉は、根元付近が一部樹皮を失い白骨化していますが、小木が着生し、それは様々な山の精霊をまとった魑魅魍魎の凄まじい様相、この生命力には感動というより畏敬の念をいだき思わず手を合わせていました。

この「翁杉」は9月10日の朝、横倒しになっている姿で発見されました。

電話口に出たガイドのM氏「なあーに二千年もしたらまた同じ木が立っていますよ」と笑う。既に長い再生が始まっています。

→ 翁杉



編集後記
「こもれび」秋号をお届けします。記録すくめの暑い夏から急に涼しくなり、皆さま体調はいかがでしょうか。
今回は、フォーラムの特集号として、会場の雰囲気を感じていただけお伝えしたく写真をたくさん入れております。
お楽しみ下さい。
(齋藤)

サークルiは、口の中の細菌が及ぼす全身への影響や、食事で噛むこと以外の口の知られていない機能を勉強し、市民の方々と共に健康を考えていく会です。

ホームページ上でも情報を開示しています。



<NPO法人口腔健康推進協会サークルi>

227-0033横浜市青葉区鴨志田町815-35

電話：045-962-1184 FAX：045-962-1962

メール：info@circle-i.org URL：<http://circle-i.org>